

ちょっと路地裏よってみて

代表者 市原千絵 (経済B 3年)
構成員 加藤直子 (教育B 4年)

1. はじめに

私たち「ちょっと路地裏よってみて」は留学生を対象として、日本語や日本文化と一緒に学ぶことを目的とし、活動している団体です。日本語の授業とは異なった点から、目で見て、手で触れて、話す、書くなどいろいろな要素を織り交ぜながら活きた日本語を知ることが目的としています。留学生に教えることのみを目的としているのではなく、私たち自身留学生とともに学ぶことを第一義としています。日本語や日本文化と一緒に学びながら、同時に留学生からも自国の文化について日本文化と共通点があるかなどを聞きながら、日本文化により興味関心を抱けるように考えながら、週1回講座を開いています。

2. 活動内容

留学生に向けて、日本語・日本文化の講座を週に1回開催しています。テーマは留学生の興味のあることを学べるよう、アンケートを取りながら決めています。1つのテーマにつき2回の講座を開催しています。1回目はテーマの定義や内容説明、2回目は実際に物を見たり、書いたり、作ったりします。私たちはただ、話を聞くだけでなく実際に見て、触って実感してもらうことを目的として活動しています。そのほかにもテーマごとに内容をまとめた通信を作成しています。その中には留学生の感想なども含まれています。

以下は私たちが実際に行った活動内容です。

活動日	活動内容
4月19日・22日	レストランやお店での店員の言葉と注文の仕方
5月10日・20日	季節の草花
5月27日・31日	性格を表す形容詞
6月10日	子どもたちが遊ぶ日本の遊び
6月14日	グリーンカーテン作り
6月28日・7月1日	七夕
7月12日	日本遊び「かるた」

表1 活動記録

3. 具体的活動

活動内容で紹介した各講座の具体的内容について説明します。

4月19日・22日は日本に来たばかりの留学生が多く、レストランなどの飲食店に行った時の店員さんの言葉について説明しました。メニューの注文の仕方や、留学生の自国と日本との違いの説明なども含めて講座を開きました。

5月10日・20日は四季の草花の説明をしました。実際に大学構内を歩いてそれぞれの気に入った草花を採取しました。その後に、摘んできた草花を使って、押し花を作ってオリジナルのしおりを作りました。それぞれが好きな花や草を選んで、色画用紙にメッセージを書きました。

5月27日・31日は日本語の講座を開きました。自己紹介をする機会が留学生には多いのでその時に自分のことを日本人にうまく伝えることができるような形容詞を選んで説明しました。形容詞は10個程度に限定してその意味を理解してから今度は、自分の自己紹介を書いてみんなに発表しました。また、家族の紹介などもして話すことにも慣れてもらえるようにしました。

6月10日は、日本の遊びを知りたいという留学生が多かったので、留学生ができる程度の簡単な子どものころによくした遊びをしました(早口言葉・なぞなぞなど)。問題だけで解くのは難しいので、ヒントを出しながら、答えを一緒に考えました。

6月28日・7月1日はちょうど七夕の季節なので七夕をテーマにみんなで願い事を書いたり、飾りを作ったりしました。それぞれの国の七夕の祝い方についても会話しました。

7月12日は前回の講座で時間が足りずできなかった「かるた」をしました。かるたの説明をして、みんなでかるたを読みながらその意味について考えたりもしました。



写真1 草花を探索中



写真2 日本の遊び(なぞなぞに挑戦中)



写真3 グリーンカーテン作りの様子



写真4 七夕

4. 活動の工夫

今回のプロジェクトでは、できるだけ留学生に楽しんでもらうために、いろいろな工夫をしました。まず、ある程度の項目を作ってから来てもらった留学生にアンケートをとり、そこからテーマを決めていきました。日本語や日本文化の間違った知識を教えないようにするために、本で調べ、私たち自身も改めて日本語・日本文化について勉強しました。講座を開くときも留学生が辞書を使わなくて済むように、打ち合わせをしてわかりやすく、単純な日本語を使うようにしました。言葉だけでは伝わらないことも多いのではないかと考えたので、講座の最中には、ペンと紙を用意しておき、留学生がわからないなと思ったときには、言葉を書くようにしました。また、この単語は覚えてほしいというときには、あらかじめ大きな字で単語とその意味を書いておくことで重要さを示しました。留学生の中には、読んだり、書いたりすることが得意でも話すことが苦手という人もいたため、講座の最初 10 分～15 分程度はテーマに沿った話をおしゃべり感覚で話すことによって、留学生が会話をすることに慣れてもらえるような工夫もしました。

5. おもしろプロジェクト参加による活動の向上

私たちの活動はおもしろプロジェクトに参加したことにより、準備・講座の両面で向上しました。おもしろプロジェクトを利用することにより、講座に必要な道具を購入することができました。そのため、講座では、参加して頂いた留学生によりわかりやすく日本語や日本文化を伝えることができたと思います。また、講座終了後も

通信を作る際にはおもしろプロジェクトのおかげでより質のよい通信を作成することができました。留学生に私たち団体の活動を知らせる際にも、おもしろプロジェクトに参加しているということで留学生支援センターにも快くポスター掲示の許可を頂くことができました。

6. 今後の活動・抱負

今のところ今後、またこのような活動ができるかどうかはわかりませんが、私たち団体としてはまた留学生に日本語や日本文化を紹介する機会をつくることができればよいと思っています。そのときには、今回以上に、留学生の意見を取り入れ、留学生と一緒に講座の準備ができればと思っています。今回は人数も少なく、講座準備に時間がかけられなかったのが現状ですが、次回講座を開く際には、人数をもっと増やして、それぞれがしっかりと計画をし、留学生の人たちにもっと楽しんでもらえるような講座をすることができればと思います。今回、おもしろプロジェクトに参加したことで、今まで自分がやってみたかったことをスムーズに計画することができました。そして、おもしろプロジェクトの選考委員の方々の意見を参考にする事で私たちの思いつかなかった点も指摘していただき、私たち団体の活動がよりよいものになりました。おもしろプロジェクトに参加させていただきありがとうございました。

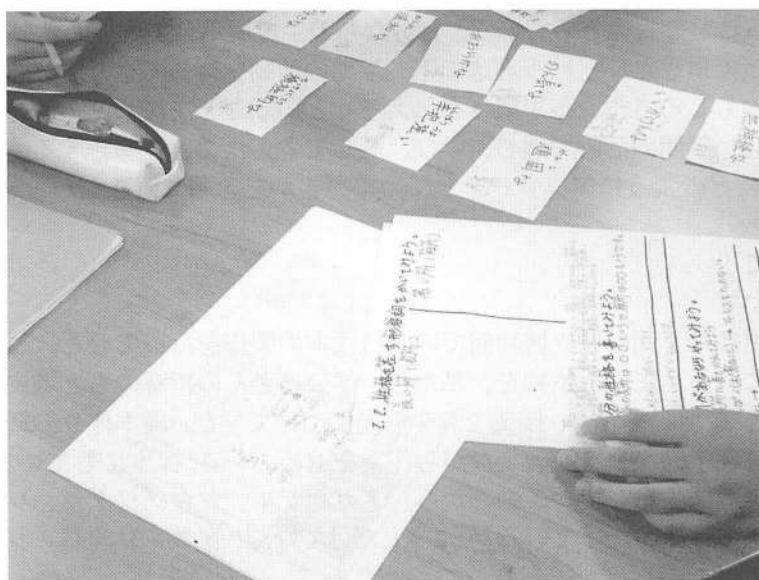


写真5 形容詞の説明



写真6 草花の説明